

神奈川県伊勢原市の野鳥で 高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）検出!!

9月25日に神奈川県伊勢原市で回収された死亡野鳥から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)が確認されました。今シーズンで1例目の野鳥における確認事例となります。

9月21日に韓国で採取された野鳥糞便からは、H5亜型鳥インフルエンザウイルスが検出されました(病原性は未確定です)。

すでに本病ウイルスを保有した渡り鳥が国内へ飛来している可能性が高いため、農場においては特に以下の防疫対策の徹底をお願いします。

- ①早期発見・早期通報の再徹底
- ②防鳥ネットの再確認および人・車両の出入りの厳重管理
- ③農場周辺の消石灰散布などの消毒の徹底

～防疫対策の見直しをお願いします～

■ 農場・家きん舎内へのウイルス侵入防止対策

● 農場内・周辺の水域対策

野鳥を近寄らせないように、不必要な水域は水抜きや防鳥ネットなどで対策(可能であれば農場周辺水域も)

● 野生動物の侵入防止

- 野生動物を誘引しやすい死亡家きんの保管場所、堆肥舎などは防鳥ネットなどで侵入防止
- 家きん舎の破損などの日常的な点検と修繕

● 家きん舎外はウイルスの存在する汚染エリア(家きん舎内は清浄エリア)と認識

- 長靴の履き替え場所の汚染エリアと清浄エリアをスノコ等で物理的に区切る
- 家きん舎外用と内用の長靴の履き替えと消毒、手指消毒・手袋の交換 ※踏込消毒ではウイルスの完全な除去はできません

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

東濃家畜保健衛生所

TEL:0573-26-1111(内395) FAX:0573-25-7669